

政治の流れに大きな変化

- 石川氏は続いて、2024年衆院選以後の政治の大きな変化について、次のように指摘しました。
- 最大の特徴は、自民・公明の過半数割れ。第2次安倍政権以降の自民一強時代の終焉、改憲派は2／3割れ。
 - 自民党政治に変わる新しい政治の中身は不明確、野党の共同で前に進めたいが…。
 - 自民党側は野党取り込みなど、あらゆる巻き返しを狙っている。維新、国民民主などの自民補完勢力の動向がカギ。
 - 若い世代でより大きな自公離れ。10～30代で顕著。
 - 2025年3月、政府の提案に含まれた「高額療養費負担増」が、市民の怒りを招き凍結された。これは、「高額療養費負担患者への支援を200億円カットする」という提案。これに対して、「払えない」「死ねということか」「それはひどすぎる」という切実な声が全国津々浦々から寄せられた。そのため、衆議院で成立し参議院審議に入ったところで石破首相が「凍結」を表明、衆議院で再審議という異例の状況になった。なお、この政府提案を進めたのは、自民・公明・維新・国民民主。
 - 現在、「消費税減税」が目前の大きな焦点に。「消費税減税」の主張は、多くの国民の声を受けて、共産党、社民党、れいわ新撰組の他に、維新、国民民主、自民の一部からも出されてきている。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.880 2025年8月24日
連 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)
先 平良木哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

#がんばれ！ガス水道局！②

日付	正善寺ダム 貯水量 (貯水率)
8月16日 (土)	48.3万㎡ (17.9%)
8月17日 (日)	48.4万㎡ (17.9%)
8月18日 (月)	48.6万㎡ (18.0%)
8月19日 (火)	48.5万㎡ (18.0%)

8月16、19日の正善寺ダムの貯水量（ガス水道局提供資料）

県営高田発電所の水圧管の破損に端を発した異常な水不足から、断水という最悪の事態を避けようと、市ガス水道局は様々な取組を行っています。現在の取組の概要は下の表の通りです。

また、一時10％程度まで低下した正善寺ダムの貯水率は、最近の降雨で先月下旬の水準まで回復しています。

そこで、市長は、19日の記者会見で、「10月10日までは断水を避けられる見通しになった。また、節水目標を40％から20％に緩和する」と述べました。

ただ、この先もまとまった降雨は見込まれないこともあり、予断を許さない状況は続いています。そのため、緩和されたとはいえ、引きつづき節水が呼びかけられています。力を合わせて、もう少し頑張りましょう。

この間の“水”確保のための様々な取組（8月18日現在）

項目	取組内容
原水確保の取組	沢山川からの緊急取水（6/6～） 破断した水圧管路からの取水（7/21～） 国・県に緊急要望（7/25）、中央要望（8/5） 消雪用井戸の活用に向けた工事（上越妙高駅 8/5 完了、上教大及び飯交差点付近は 8/12 完了） 旧南城浄水場稼働に向けた工事（8/12 完了） 綱子川から正善寺ダムへの放流開始（8/1～） 正善寺ダム堆砂容量からの取水が可能なことを確認（8/7） 農業用水等水利使用者との協議
正善寺浄水場の配水量の抑制	地下浄水場の運転開始（4/9～） 柿崎・深谷浄水場エリアの拡大（6/10～7/31） 板倉区山越浄水場エリアの拡大（6/23～順次） 牧浄水場エリアの拡大に向けた緊急配管作業（7/21～7/31） 節水対象区域外に給水スポット開設（7/24～順次） 三和区法花寺浄水場の運転開始（7/26～） 節水対象区域内に給水スポット（キャンパス水槽：1トン）開設（7/29～）
節水の周知	広報車、チラシ配布、ポスター掲示、HP、SNS、防災行政無線等（今後予定） 対象区域の市民及び企業等事業者への積極的な情報発信（随時）
その他	日本水道協会新潟県支部より区域内の給水スポット（キャンパス水槽：1トン）への給水対応応援受入（7/29～） 応援職員の増員（8/1～） 令和7年度水道事業会計補正予算の専決処分（8/1）

